関西学院大学経営戦略研究科

大同生命 寄付講座

新規事業を起こすための経営学

受講申し込み方法

① 受講申込用紙をＦＡＸ（パンフレット中面にＦＡＸ用の受講申込用紙が挟んである場合ご利用ください）
または
ウェブサイト（http://www.kwansei-ac.jp/iba/）から
大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信

② 申し込み日から3日以内に受講料（3,000円）を振り込んでください。

③ 10月下旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。

・定員（95名）に達し次第申し込みを終了させていただきます。お早めに申し込みいただき、受講料を入金してください。
・受付の終了はウェブサイトにてお知らせいたします。

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分
大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー10階・14階
TEL.06-6485-5611
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

関西学院大学経営戦略研究科

21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化するとともに、経済活動における急速なグローバリゼーションは、企業をとりまく経営環境を大きく変化させようとしています。そのことは、企業経営においても、既存のビジネスモデルやシステムを継続するだけの戦略が有効ではなくなっていることを意味しています。つまりこれからは、世界規模で流動化する多様なビジネスシーンに対して、適切かつ迅速に対応するとともに、新たなビジネスを主体的に創造する先駆的な戦略が求められているのです。
関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科（Institute of Business and Accounting, IBA）では、これからの企業経営や日本社会に求められる、高度な専門知識とグローバルな視点、そして、国際レベルのスキルを備えた21世紀型ビジネスをリードする経営、会計のプロフェッショナルの養成をめざします。また、博士課程後期課程を置き、実践型研究者の養成にも取り組んでいます。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を開く、知性、国際性、人間性、そして豊かな倫理観を兼ね備えた真のビジネスとアカウンティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。

経営戦略研究科（IBA）

専門職大学院

ビジネススクール（経営戦略専攻）
- 企業経営戦略コース　2年修了　週末・平日夜間に授業実施
- 国際経営コース　2年修了　昼間を中心に英語で授業実施

アカウンティングスクール（会計専門職専攻）
2年修了　昼間と夜間・週末に授業実施

大学院

先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）
社会との関係を重視し、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を追求します。
3年修了。昼夜間。

フルラインの学びを提供する多彩なプログラム

経営戦略研究科には、世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール（経営戦略専攻）」と、グローバル経済と地域経済に貢献し得る職業会計人の養成をめざす「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」の2つの専攻が設置されています。「ビジネススクール」には、社会人を対象に多様なプログラムを提供する＜企業経営戦略コース＞と、大学新卒者・外国人留学生を対象にすべての授業を英語で行う＜国際経営コース＞があります。また、「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」には、公認会計士・税理士、企業の経理財務監査スペシャリスト、会計に強い公務員をめざす3つのプログラムがあります。
さらに、応用性の高い研究に積極的に取り組む実践型研究者の養成の場として「先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）」を設置しています。

詳しくは、 **http://www.kwansei-ac.jp/iba/** をご参照ください。

【個人情報の取り扱いについて】

関西学院大学では、本学が提供する公開講座の申し込み時に、皆さまの個人情報の提供をお願いする事があります。また、ご提供いただいた個人情報は、公開講座運営のため、および公開講座にお申し込みいただいた皆さまに対し、本学の提供する教育機会についてのお知らせをさせていただくなど、社会に開かれた大学としての責務を果たしていくために限り、利用させていただきます。
本学は、ご提供いただいた個人情報を取扱う場合は、個人情報に関する法令を遵守し、すべての教職員が、機密性を保護する取り組みを実施することにより、プライバシーを尊重し、本学に対する期待と信用に応えてまいりたいと考えています。

大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室
TEL:0798-54-6572
E-Mail：ibaseminar@kwansei.ac.jp

大同生命 寄付講座

新規事業を起こすための経営学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUTING

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUNTING

大同生命 寄付講座

「新規事業を起こすための経営学」

開 催 趣 旨

上場企業の2015年４～６月期決算は、発表を終えた企業のうち７割が前年同期比で経常増益となりました。しかし、その中身を見ると円安という「神風」による海外販売や輸出の増大によるものが多く、企業が新規事業を起こすイノベーション力が増したわけではないようです。

たしかに未開拓の分野を切り開いて新規事業を起こすことには大きな困難とリスクが伴います。しかし、その困難を克服しない限り、望まれる企業成長が得られないのも事実です。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科ビジネススクールでは、これからの革新的な企業経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点を備えたプロフェッショナルの養成を目指しています。

このたび本研究科は、大同生命保険株式会社の協力を得て「新規事業を起こすための経営学」をテーマに一連の公開講座を開講する運びとなりました。破壊的イノベーションのマネジメント、デザイン思考、新規事業評価などの切り口から、本研究科の特色である「理論と実務の融合」を感じていただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会　場	関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1004教室 ［ 大阪市北区茶屋町19-19　アプローズタワー10階 ］
定　員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講料	3,000円（全日程分。資料、懇親会費を含みます。）

日　程		
11/14 土曜日	13：00～13：30	受　付
	13：30～15：00	「日本のイノベーションのジレンマ –破壊的イノベーターになるためのステップ– 」 **玉田俊平太**（関西学院大学経営戦略研究科教授・副研究科長）
	15：10～17：10	「停滞企業・事業の事業性評価とリーンスタートアップ」 **西本　凌**（関西学院大学経営戦略研究科教授）
11/15 日曜日	13：30～14：00	受　付
	14：00～15：30	「中小企業が新規事業を成功させるためのポイント –中小企業支援の現場から見えてきたこと– 」 **久乗　哲**（税理士法人りたっくす　代表社員・税理士）
	15：40～17：10	「『新しい！』を生み出す思考法 –イノベーティブシンキングが企業を変える– 」 **冨田　欣和**（関西学院大学経営戦略研究科助教）
	17：45～19：45	懇親会　会場：ホテル阪急インターナショナル4階 「月華」

ごあいさつ —寄付講座開設にあたって—

大同生命は、「中小企業の継続的な発展を応援していきたい」という想いをお伝えする取組みとして、創業100周年を迎えた平成14年度より、全国各地の大学で寄付講座を開催してまいりました。

これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただいており、関西学院大学様では通算９回目の開催となります。

未来に向けてこれからも中小企業のみなさまとともに歩んでいくために、当講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるようご支援してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸甚です。

DAIDO 大同生命保険株式会社

（ホームページ）　http：//www.daido-life.co.jp/

講 座 概 要

11/14 土曜日

13：30～15：00

「日本のイノベーションのジレンマ –破壊的イノベーターになるためのステップ– 」

企業の持続的な成長のためにはイノベーションが不可欠ですが、業界トップの優良企業であっても、あるタイプのイノベーションには打ち負かされ滅んでしまうことがあります。このようなタイプのイノベーションは「破壊的イノベーション」と呼ばれ、近年注目を集めています。

本講座では、多くのビジネスパーソンが聞いたことはあるが完全には理解できていない「イノベーション」。なかでも誤解している人の多い「破壊的イノベーション」について、①破壊的イノベーションとは何か（＝敵を知り）、②何故優良企業であっても破壊的イノベーションに打ち負かされてしまうのか（＝己を知り）、③自らが破壊的イノベーションを起こすためにはどのようにすれば良いか（＝戦略）について、図表を使いながら順を追ってわかりやすく解説することで、皆さんを「百戦あやうからず（百回戦っても危険な状態にはならない）」な状態となるように導きます。

玉田 俊平太（たまだ しゅんぺいた）
関西学院大学経営戦略研究科教授・副研究科長
博士（学術）東京大学
MPA（ハーバード大学）

ハーバード大学にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属、競争力と戦略の関係について研究するとともに、クレイトン・クリステンセン教授からイノベーションのマネジメントについて指導を受ける。筑波大学講師、独立行政法人経済産業研究所フェローを経て現職。研究・技術計画学会評議員。平成23年度TEPIA知的財産学術奨励賞「TEPIA会長大賞」受賞。2015年9月に「日本のイノベーションのジレンマ～破壊的イノベーターになるための7つのステップ」を刊行。その他の著書に「産学連携イノベーション－日本特許データによる実証分析」（関西学院大学出版会、2010年）、「巨大企業に勝つ5つの法則」（日本経済新聞出版社、2010年）、監訳に「イノベーションへの解」（翔泳社、2003年）、「イノベーションのジレンマ」（翔泳社、2000年）、監修書に「破壊的イノベーション」（中央経済社、2013年）、「マンガと図解でわかる　クリステンセン教授に学ぶ「イノベーション」の授業」（翔泳社、2014年）など多数。

15：10～17：10

「停滞企業・事業の事業性評価とリーンスタートアップ」

2014年7月、金融庁モニタリング基本方針にて、地域金融機関のコンサルティング能力の向上に資する「事業性評価」検証のフレームワークが提示されました。これは、所謂「3C」という古い事業評価フレームワークの焼き直しですが、中小・中堅企業および大企業の停滞事業の活性化（事業シフト、新規事業）に有効に機能します。「世は情報戦」、WEB情報を巧みに使う実践的なノウハウ・事例をご紹介いたします。

一方、シリコンバレーのシリアルアントレプレナ発信で、この数年「リーンスタートアップ」という事業開発フレームワークが日本でも認知を得ていますが、こちらも中小・中堅企業、そして大企業の新規事業・事業シフトを効率的に推進するツールということが出来ます。

本講座では、皆さんがあまりご存じない（と思われる）事業性評価やリーンスタートアップの概念・事例をご紹介し、皆さんの明日からの活力醸成に資するお話をしたいと思います。

西本　凌（にしもと りょう）
関西学院大学経営戦略研究科教授
MBA（マサチューセッツ工科大学）
LL.M.（ボストン大学）

1985年、新日本製鐵入社。1989年より、京セラにて、経営指導、M&A、VB/VC投資、三田工業保全管理人代理、経営企画に従事。2000年、リップルウッド（再生ファンド）に参画。その後、（株）ナカノス（現（株）ミツカン）代表取締役社長、（株）デジタルガレージ（JASDAQ）取締役COO等大企業および新興企業のChief Operating Officerを5社歴任。実務派経営者として、受任業態も素材、電子部品／機器、食品、広告、インターネット／メディア、コスメ、アパレル、通販と幅広く、新規事業開発、VB投資、戦略的提携（含M&A）、企業再生に基軸を置く。MITアントレプレナーシップフォーラム、新興／公開企業等でのメンタリング、経営助言、社外取締役を手掛ける。

11/15 日曜日

14：00～15：30

「中小企業が新規事業を成功させるためのポイント –中小企業支援の現場から見えてきたこと–」

ビジネスにおいては、顧客を創造しないといずれ収益は逓減していきます。これは大企業のみならず、中小企業でも同じことです。既存の商品やサービスはいずれ魅力を失い、いずれ顧客は離反していきます。そのために企業は新商品や新サービスなどの新事業を開発し、顧客を創造しなければなりません。

しかし、中小企業の場合、大企業と違い経営資源が豊富ではありません。新事業の開発についても、大企業よりも大きなリスクが伴います。限られた経営資源の中でいかに新事業を開発するべきでしょうか。

本講座は、中小企業支援の現場に身を置く講師が、中小企業が新事業を成功させるためのポイントについて解説させていただきます。

久乗　哲（くのり さとし）
税理士法人りたっくす
代表社員・税理士

1967年京都府京都市生まれ。立命館大学大学院経営学研究科修了（経営学修士）。立命館大学大学院政策科学研究科非常勤講師、立命館大学大学院経済学研究科客員教授、神戸大学経営学部非常勤講師、立命館大学法学部非常勤講師、大阪経済大学法学部非常勤講師を経て立命館大学映像学部非常勤講師、椙山女学園大学現代マネジメント学部非常勤講師（現職）。
第25回日税研究賞入選。主な著作に「検証納税者勝訴の判決」、「事例から見た法人税の実務解釈基準」、「京都の老舗に伝わる教えと経営者倫理」（いずれも共著）等がある。TKC全国会会員。

≪ＴＫＣ全国会≫
ＴＫＣ全国会とは、租税正義の実現を目指し、関与先企業の永続的繁栄に奉仕する、税理士および公認会計士１万名超が組織するわが国最大級の職業会計人集団です。

15：40～17：10

「『新しい！』を生み出す思考法 –イノベーティブシンキングが企業を変える– 」

多くの企業で取り組まれている新規事業開発。しかし、新製品や新サービスを生み出すところまで辿り着くのは簡単ではありません。プロジェクト途中で力尽きたり、なんとか形になったとしても「新規」ではなく、どこかで聞いたような「普通」の事業になったり。情報が瞬時に広まり、誰もが同じ情報を得ている中では、単なる論理的思考や既存のフレームワークの活用だけでは、尖った新規事業が生まれにくい状況なのです。では、どうすればいいのか？

『新しい！』事業を生み出すには『新しい！』を生み出す思考OSが必要です。なかでも、いま注目されるのが、全体を俯瞰して思考する「システムシンキング」と、人間を中心として自由に発想する「デザインシンキング」を自由に操る「イノベーティブシンキング」です。本講座では『新しい！』を生み出すイノベーティブシンキングについて、その考え方とやり方についてお話しいたします。

冨田 欣和（とみた よしかず）
関西学院大学経営戦略研究科助教
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任講師
修士（システムエンジニアリング学）（慶應義塾大学）

慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修了（システムエンジニアリング学）。実務・教育・研究の3領域を横断して社会的価値創出を行っている。現在も多数の企業においてイノベーション創出の支援を行っており、重工業、自動車、製薬、化学、電機、IT商社等に対して研究戦略デザイン、プロダクト及びソリューションのコンセプトデザイン、新規事業デザインなどを実施。文部科学省「平成26年度イノベーション創出に向けた高度コーディネート人材育成事業」「グローバルアントレプレナー育成促進事業」の開発実施メンバーとして研究開発を行っている。研究では社会システムデザイン、イノベーション創出方法論。日本創造学会第35回研究大会賞。

懇親会　講座終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。
会場：ホテル阪急インターナショナル4階 「月華」　**17：45～19：45**